



<令和4年度 学校評価について >

学校が自らの教育活動を振り返る学校評価。今年度は12月に教職員、保護者、児童による3者の自己評価をもとに実施しました。今年度の保護者アンケートの回答率があまり高くなりませんでした。回答率が上昇するよう手立てを考えていきたいと思えます。

今回の結果は、下記のようになりました。項目によっては、3者のとらえ方が非常に似通っていたり、差が生じたりしました。保護者の意見を大切にしつつお子さんの健やかな成長のサポートができるよう、職員で情報共有し、コミュニケーションの向上に努めていきます。そして、児童が自己肯定感を高めていけるよう更に学習指導や生徒指導を充実させ、今後の経営に生かしていきます。

令和4年度 学校評価と保護者・児童アンケートの比較

(A十分=5、Bどちらかといえば十分=4、Cどちらかといえば不十分=2、不十分=1で換算)

No	職員の自己評価 (保護者アンケート) <児童アンケート>		教職員	保護者	児童
	学年学級経営	教科指導			
1	学年学級経営	学校経営方針の具現化を踏まえた学年・学級経営案に基づきながら、共感的児童理解のもと、児童が自尊心を高め、自己有用感、安心・安定感をもつ経営に努める。 (お父さんは学級や学校で良さが認められている。) <自分の良いところが分かる。>	4.0	4.1	3.8
2	教科指導	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を基盤に、ICTの適切な活用を取り入れ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、学習意欲や学力の向上を図る。 (お父さんは学校で楽しく学び、「できた」「わかった」を実感している。) <学校の勉強は、楽しくわかりやすい。>	3.8	4.1	3.9
3	生徒指導	保護者・地域・関係機関と連携し、深い児童理解と信頼関係に基づく生徒指導の充実を図る。 (学校は、子どもや保護者の悩みを相談しやすい雰囲気作りで努めている。) <困ったとき、先生に相談しやすい。>	3.8	3.8	3.7
4	道徳教育	考え、議論する道徳科の授業をつくり、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 (学校はいじめの防止に向けて積極的な指導をしている。) <いじめは絶対にしてはいけないし、自分は絶対しない。>	4.0	3.8	4.6
5	健康安全	絶えず危機意識をもって児童の生命を守り、家庭・地域と連携しながら、自ら健康安全に努めようとする習慣や態度の育成に努める。 (学校は、感染症等に対応した手立てや指導を行っている。) <新しい生活様式で、熱を測ったり手洗いをしたりして気を付けている。>	4.1	4.2	4.5
6	情報教育	情報活用能力やメディア・リテラシー、ICT活用能力等の育成を図るとともに、プログラミング教育を推進し、情報社会に主体的に参加できる能力の育成に努める。 (学校はタブレットの活用など、ICT機器の活用を進めている。) <タブレットを目的に合わせて使うことができる。>	3.8	4.1	4.4
7	危機対応その他	保護者や地域と目指す子ども像を共有した「地域とともにある学校」の実現に努める。 (ホームページや学校だより、学年学級通信などで、学校の方針や取組が伝わっている。)	3.8	4.5	—

活気と潤いのある
柏小
新しい時代を切り拓く子どもの育成